

“令和八年度 門信徒会活動始動!”

— 日曜礼拝・定例法話会などへの積極的なご参加を! —



門信徒会年次総会 (8.4.25)



発行所
岡谷市郷田一丁目6番3号
TEL(0266)22-2524
金松山 敬念寺
発行
敬念寺門信徒会
編集
会報組織委員会

朝7時はみ仏さまや
彼(か)の人との
出会(であ)いの時間

小僧の目

1999年「男女共同参画社会基本法」が施行されました。最近では「男女共同参画」という言葉より「ジェンダー平等」と言う言葉が使われることが増えてまいりました。▼「男らしさ」「女らしさ」などによる社会的文化的に作られた性差による偏見を「ジェンダー」と呼び、その是正していくことを「ジェンダー平等」と言います。「性差別のない平等な社会」の実現に向けての活動とも言えます。▼先般僧侶対象にジェンダー平等についての研修会がありました。宗門（浄土真宗本願寺派）においての現状を踏まえ、宗門としてどのように考えていくのかという方向性をお聞きしました。▼浄土真宗のみ教え・阿弥陀さまの本願には「男女」の差別はありません。男女だけでなく老若・貴賤を選ばずいのちすべて等しく救うと申されています。そんな教えを中心とした教団でありながら現状は散々なのです。▼他人事ではなく私自身も何の疑問も持たず過ごしてきた、過ごしていることに気付かせていただきました。▼宗門の制度では、男女問わず住職になれると同時に坊守も男女問わずなれます。しかし、一般的には男性住職・女性坊守と捉えがちです。そして坊守は、住職の伴侶がしなければならぬことはありません。現状は男性が住職になることが多く、同時に女性が坊守になる場合が多いというだけなのです。▼当寺も「住職継職」とは言いましたが「坊守継職」とは申しませんでした。伝統や慣習・制度が「そのようなものだ」「そうするものだ」という思いがあったのか、何も考えなかったのか、日々の坊守の職責を思うと至らなかつたと反省をいたします。▼お寺の活動も男性と女性を分けて考えることが当然になって力仕事は男性、家事仕事は女性にしていたことがほとんどです。一つ一つのいのちを等しく考える仏さまの教えを守る寺院としては、

— 四ページ一段に続く —

寺院行事

- 8月 2日(日) 新盆合同法要 前10:00
- 8月16日(日) 孟蘭盆法要 前10:00
- 9月23日(水) 秋彼岸法要 前10:00
- 11月 8日(日) 報恩講法要 前10:00

定例法話会

- 7月20日(月) 講師 加藤 学さん(三重県)
- 8月20日(木) 講師 柳川大喜さん(長野県)
- 9月20日(日) 講師 四下順文さん(富山県)
- 10月20日(火) 講師 (未定)

いずれも毎月20日 夜7:00からです。

令和八年度年次総会の報告

令和八年度敬念寺門信徒会年次総会を四月二十五日（土）に開催いたしました。

当日は代議員であるお世話人二十四名（委任状三十一名）出席のもと議長に伊藤忠男さんを選出、議案審議が行われました。

総会に先立ち、「讃仏偈」で勤行を行いました。

また、新たにお世話人二名が委嘱されました。（後記）

議事

一、令和七年度事業報告

一、令和七年度会計報告・監査報告

一、令和八年度事業計画（案）

一、令和八年度予算（案）

一、役員改選の件

★千原会長による事業報告では、門信徒会の事業活動を回復基調へと努力する中、昨年に続き親睦旅行を実施（長野市の名利・康楽寺と御開帳の北向観音・浄楽寺、無言館を参拝等する日帰り旅行）、報恩講法要の厳修協力とお斎の接待を行い、参拝者からの反応は好評であった。一方、お朝事・日曜礼拝へのお参りや、法話会・法要・行事への参加者の漸減傾向は進んでおり、お寺への参拝と寺院活動を支

える青壮年層人材の発掘・世代引継ぎが急務の課題である等が報告されました。

★役員改選の件では現役員の任期を一年延長して、早急に次年度以降の役員体制構築を図ることが提案されました。

★審議の結果、記載の各号議事がすべて承認され総会の幕が閉じられました。

★最後に、ご住職から挨拶がありました。

喫緊の課題である体制整備に早急に取り組むとともに、その他の諸課題の解消・前進に向けて取り組む決意が述べられました。また引き続き門信徒の皆様のご協力を頂きながら、教化伝道をしっかりと進めてまいりたい。と述べられました。

★今回は総会終了後の懇親会をコロナ禍以後初めて計画し再開しました。参加者十六名と少なかつたものの、大変有意義なひと時を持つことができました。

◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇

★次の方々が新たに地区お世話人として委嘱されました。

和久井洋伸 さん

巻渕 哲夫 さん

門信徒会令和八年度事業計画 (総会資料から略記)

＜「寺院・門信徒会の最重要課題である次代を担う青壮年層人材の掘り起こしと育成事業を、現役員体制を一年延長して強力に進めたい」という住職の強い方針を受け、門信徒会総会での審議・議決を経た上で、当該喫緊重要課題への、住職の取組と一体となった活動を鋭意進めたい。＞

◎常任委員会（住職・会長・各委員長・各副委員長・教化団体代表者）

- 1) 定例常任委員会の開催（毎月16日午後7時～9時）
- 2) 寺院営繕保守事業の推進
- 3) 寺院の将来あるべき姿（中長期ビジョン）の検討と事業推進
 - ・寺院並びに門信徒会の中長期重要課題に対する、住職と連携した対応策の具体的検討と新たな活動の推進
 - ・次世代を担う、次世代/青壮年層人材の発掘と育成、寺院活動への誘導
 - ・地区世話人体制の再構築/世話人欠員地区の補充
- 4) 長野教区、松本組、岡谷市&諏訪仏教会など対外的な会合・行事への出席・参加

◎教化委員会

- 1) 親睦・研修旅行
 - ・ご住職が全行程同行できる内容で実施する。
 - ・2年に1度の「本山参拝」を実施する。参加者25名程度で実施する。
- 2) 報恩講法要（11月8日 10:00～14:00）
 - ・コールガンダー、お斎（敬念寺汁付き）を実施し記念品も提供する。
 - ・協賛行事として例年どおり「作品展」を開催する。
- 3) 門信徒会活動の活性化支援
- 4) その他
 - ・「ファミリー参拝」は今年度も開催しない。
 - ・「夏季連続参拝」は実施しないが、通年毎朝7時から実施している、朝のおまいり『お朝事・ご晨朝（おあさじ・ごじんじょう）』に参拝するようPRする。

◎財務委員会

- 1) 収入・・・会費・護寺協力金は前年並みを計上します。お世話人様・ご門徒様にはご苦労をおかけしますが、ご協力のほどお願いいたします。
- 2) 支出
 - ・前年度並みを計画いたします。
 - ・護寺基本金への繰出については、決算時に少しでも多くの繰出を検討いたします。
 - ・護寺基本金からの支出は、5年契約の火災保険満期で契約年となるため、その保険料支出を予定いたします。

◎会報組織委員会 敬念寺だより3回発行（6・10・3月）

◎婦人部

- ・役員体制が整わないため、坊守が統括して活動していく。
- ・対外的には対応できない。

小僧の目(続き)

考えていかなければならないと強く感じました。▼「ジェンダー平等」ということが、歴史や伝統格式を守るという大切な思いを破壊することではなく、本来ある「いのちの尊厳」を考える大切な機会と捉えたいと思います。また、「ジェンダー平等」とは、男性女性ということだけでなく、男性同士女性同士でも言えることです。▼それとまた、「ジェンダー平等」を考えると同時に大きく「差別」ということにも目を向けていくことが大切で、手返すように物事は転じませんが、問いを持つことに努めてまいります。

釈
宏真

— 親交を深めたひと時 —

門信徒年次総会終了後、一階和室で懇親会を開催しました。かつては、二階大広間で大勢が参加して行われました。それを思うと少し寂しい気がしますが、コロナ禍を経て懇親会が再開できるようなり、これも一つの弾みにして、お寺の活動活性化につながればと願うところです。

— 婦人部総会を開催
役員体制整わず —

五月八日婦人部の総会を開催しました。高齢化などで役員体制が整わず、当面、坊守が「統括」しながら活動してまいります。

小菊・ドーム菊
づくりのお誘い!

今年も報恩講(十一月八日)に向けて、境内を彩る小菊・ドーム菊の苗の配布を計画しています。多くの皆様のご協力で境内が一杯になるのが楽しみです。

菊づくりのお仲間「敬香会」の皆さんが植え方、育て方をアドバイスしますので、ぜひご参加ください!

七月十二日(日)日曜参拝終了後七時四十五分から八時半本堂下駐車場にて(当日都合つかない方は、後日残りの苗をお持ちください。)

八月末日までに!

門信徒会費と
護寺協力金のお願い

今年も寺の維持管理の資金、更なる教化活動の振興のため、会費と護寺協力金をお願いに担当のお世話人が近日中にお伺いしますが、ご協力の程お願いします。

○ご依頼額は

年間三千元以上

※以上分が「護寺協力金」となります。

今年も!

— 「護寺協力金」について御礼とお願い —

財務基盤強化の一環として平成28年度に「護寺協力金」が新設されています。(今年で11年目となります。) お世話人を通じ(市外の方は郵送書面でのお願いにより)、年度会費3千円徴収依頼の際にご協力をお願いしておりますが、お陰様で皆様のご理解・ご協力により広く定着し、財務健全化につながっております。【昨年度も75万円余のご協力を頂きました。】

(従来からご依頼額は3千円以上となっており、「会費3千円」の以上分の浄財を「護寺協力金」に充てています。)

この浄財は、全額「護寺基本金」に積み立てて、大規模営繕・大規模法要等の費用に備えています。

今年も、担当のお世話人がお伺いした折及び郵送便到着後に、引き続きのご理解とご協力をお願い申し上げます。

敬念寺門信徒会 会長 千原 博幸 財務委員長 西山 周治